

1. 戦争責任

確かに、日本では第二次大戦といえば、原爆、アメリカが一番に浮かんで来て、中国のことについてはあまり触れられなかった。・・・冷戦と戦争責任問題のあり方¹。

2. 「帰ってきたヒトラー」

テレビでよく外国の市民規模でのアクションが取りざたされているが、私たちと同じ世代すなわち学生層のアクションは世界で起きているのか？²

3. 日本とドイツの戦後復興の流れを比較して、違いがどれ程のものか調べて見る³

4. 新自由主義・・・私たちの社会・文化・経済には良い影響をおよぼした印象がない⁴。

5. ゼミで、ソ連のスターリン時代—フルシチョフ時代—ソ連崩壊まで、発表。なぜ、社会主義政策がうまく行かず、崩壊に向かってしまったのかを、国内の状況も踏まえて詳しく見ているので、・・・参考になった⁵。

6. ナチスやヒトラーに関することはあまりにも残酷杉て受け付けない。なにかよいテーマはないか、悩んでいる⁶。

7. 94歳の老人＝禁固刑判決・・・「なんで今なんだろう？」⁷

8. 東西ドイツの競争・・・「どちら側も成長していったのではないか」⁸

9. イギリスのEU残留か離脱か・・・イギリスとEU諸国の移民政策、影響（雇用やテロ問題）について、調べる。

10. 東ドイツ地域でネオナチが起こっている（強まっている）問題。

現在ドレスデンに留学している若手研究者の昨日のメール紹介

ドレスデンでの移民問題は深刻で、治安は悪化傾向にあり、街中で野次を飛ばされることもたまにありますが、普段は平穏な日々を送っております。・・・ドイツ人の同

1 重要研究テーマ

2 イギリス離脱問題でも、若者に残留支持の割合が多かったことが報じられている。その学生たちの運動・行動はどうだったのか、調査の価値あるテーマ。

3 重要問題。関連文献あり。図書館で調査を！ドイツの場合は、一言で言えず、東西ドイツに分かれていたことを常に念頭に置く必要がある。講義で示唆したとおり。

4 新自由主義のキーワードで調べると、いろいろの側面が見えてくる。サッチャーリズム、レーガノミクスをキーワードとして調べてみるのも、いいテーマ。

5 ソ連の誕生から崩壊までに関しても、大量の文献があり、巨大なテーマとなります。このテーマで調査を進め、報告を期待します。

6 これまでの皆さんの感想の紹介、それへのコメントなどを見てください。自分が疑問を持ったことがあれば、それを探究して行くことで、期末論文は出来上がります。

7 まさにこれこそ、一つの重要な「なぜ」です。新聞記事を出発点に、探究してみてください。いい期末論文が出来ると思います。

8 テキスト、ケルブレ『冷戦と福祉国家』の基本的メッセージには、まさにこれがあります。その問題意識から、ケルブレの本（『ヨーロッパ社会史』も）を見て、調べてみるのもいいテーマです。

僚の話を聞いていて、「あっ、これがオスタルジーだ！」って気づく瞬間があり、思い切ってドレスデンに住んでよかったと思えるようになりました。この経験が東ドイツ研究に反映されると面白いのですが。なんとか研究がんばります。

11. ナチ党やヒトラーをその時代で否定的に見る人、批判する人は、ユダヤ人以外にいたのか、気になりました⁹。
12. ヒトラーの国際連盟に対する態度は？¹⁰
13. 「平和主義者が戦争を引き起こす」という話を聞いたことがあります¹¹。
- 14.

⁹ ヒトラー・ナチスに対する抵抗運動は、多様にありました。講義では、「白バラ運動」、ヒトラー暗殺事件（7月20日事件）、エルザー事件などに触れました。調べてみるに値するテーマです。多くの抵抗者は、弾圧され、強制収容所に入れられました。国外に亡命した人々も多くいます。亡命者を調べてみるのも面白いでしょう。

¹⁰ これも、ワイマール共和国・ヴェルサイユ体制の根本問題です。関連文献を調べれば、ナチス・ヒトラーの態度が、他の諸政党とどのように違ったか、よくわかります。本格的には[エーリッヒ・アイク『ワイマール共和国史』全4巻](#)、[ハンス・モムゼン『ヴァイマール共和国史』](#)などを、図書館で調べてみてください。また、本日の講義で配布する参考資料『[教養のドイツ現代史](#)』ミネルヴァ書房を、ひとまず見るのもいいかもしれません。

¹¹ 「平和主義者」とはだれのことでしょう。どのように戦争を引き起こしたのでしょうか。「耳で聞いた言説」を、本当かどうか、いろいろの文献にあたり、検証するのも、学問的科学的態度です。誰の、こういったところでの言説か、注意深く、調べてみる必要があるでしょう。直感的には、再軍備・軍備拡大を正当化する人々が、言った言葉のように感じられますが・・・